

# 川西市・猪名川町における交通環境改善対策の概要

(実験期間：平成14年1月～平成15年12月)

## 背景

1. 人口が急激に増加したニュータウンから市街地へのマイカー通勤による交通渋滞と環境の悪化が懸念される状況。
2. 今後、道路の延伸供用によりニュータウンから市街地への交通量の増加が予想される。

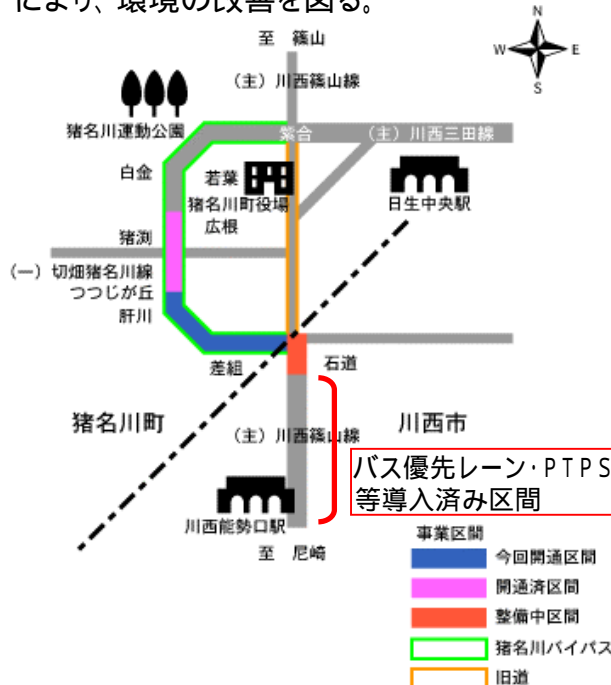
## 実験の概要

### 1. バスの走行環境の改善や交通情報提供の高度化による渋滞緩和

公共車両優先システム(PTPS)区間の延長やVICSエリアの拡大等による交通需要の軽減・平準化の検討を行い、渋滞の緩和を図る。

### 2. バスへのDPF装着と低硫黄軽油の導入による環境改善

バスに連続再生式ディーゼル微粒子除去装置(DPF)を装着し、低硫黄軽油を導入することにより、環境の改善を図る。



関係行政機関等によるTDM実験への支援(近畿運輸局、兵庫県警察本部、兵庫県)

## 実験の成果

バイパス開通部分でのバス増便、路線新設、急行バス導入等の取り組みにより、鉄道駅までのアクセス向上が図られている。

平成15年3月末までにDPF装置を33基導入。(DPF装着車は、DPF非装着車に比してPMを60%削減)

個人の交通行動が環境や交通に関する意識にどう変化するかを測定した社会実験(TFP)を平成15年度に実施した結果、一定の効果が見られた。また、平成16年度にその長期効果を検証したところ、行動及び意識の変化が持続されていることが確認された。

平成17年2月に当地域において、約20人規模のワークショップ「環境にやさしい交通を考える会」(名称地元提案)を発足し、交通及び環境に対する意識の向上に取り組んだ。

ホームページを開設し、川西猪名川地域における交通環境改善の取り組みやTFP社会実験の内容・成果を発信。 <http://web.pref.hyogo.jp/koutsu/kawanishi/kawanishi-index.html>